

I C Tを活用して学ぶ意欲を高め心のつながりを育む学習をめざして

情報教育研究部

第2回 指定研修会 期日：6月11日（水） 会場：智頭小学校

1 公開授業

4年学級活動「SNSを使うときの約束」 授業者 砂川 建夫（智頭小）

2 研究協議

（1）授業研究会

- 自評
- ・ねらい□遠距離の通信の中の交流：知らない人とともだちになる危険性。
□メール：思いが伝わらない、誤解を生みトラブルになる。
 - ・実態 インターネットで知らない友だちと交流している。4年生で取り扱う適切な学年である。
→学年で取り組み、保護者へも啓発する。
 - ・子どもたちと先生との間で、認識のずれがあった。
- 協議
- ・自分たちの中では平気だと思っているが、実際は身の守り方を知らない。
 - ・実際の友だちとのコミュニケーションがしっかりしていたら通信の場でもトラブルが起こることが少なくなる。
 - ・今回の授業のような取り組みを本校でもやっていきたいと考えた。

（2）指導・講評

指導助言者 鳥取県教育センター 黒岩 健太郎指導主事

- ・子どもたちが情報機器に触れやすい環境になっている。
- ・生きていくためには必ず情報機器に触れる世の中になる。
- ・子どもたちが賢く立ち振る舞えるか考えるのが情報モラル教育。
- ・情報モラルの授業をするためには、実態に合わせる。
- ・手紙にしても、メールにしても相手がどう思うかを考えていく。
- ・子どもたちの気づきが大事になってくる。
- ・自分たちが納得できるような答えを出す→言語活動の充実の面から。

3 講義

（1）講義「校内で進める情報モラル教育」

講師 鳥取県教育センター 黒岩 健太郎指導主事

- ・情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度。
- ・情報モラル教育の手順。
- ・情報社会でのトラブルの原因。
- ・情報モラル教育のポイント。
- ・トラブルになったときの対処について。

〈文責 若桜学園小 小林 一寿〉